

Istanbul Weekly vol.7-no.26

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2018年8月3日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：「金納兵役制」に関する法案が国会で承認。
トルコ、米国による対トルコ制裁に反発を示す。
- 経済**：中央銀行、2018年のインフレ見通しを8.4%から13.4%に修正。
1米ドル当たり5トルコリラを突破。
- 治安**：イスタンブールでISIL関連のSNSグループメンバー43名を拘束。
6月中、治安機関がイスタンブールでISIL容疑者33名を拘束。
- 軍事**：米上院議会：トルコに対するF35戦闘機の売却を禁止。
- 社会**：パンの値段が15%値上り。

政治

【内政】

●「金納兵役制」に関する法案が国会で承認

7月29日、国会は、「金納兵役制」に関する法案を承認した。同法案により、今後、兵役義務が課せられている国内の25歳以上のトルコ人男性は、1万5,000トルコリラ（日本円約34万円）を支払い、国防省による兵役教育を21日間受けた場合には、兵役を行ったものとみなされる。海外に居住している者は、2,000ユーロの支払いと国防省の通信教育の受講により、兵役が免除される。（7月30日付けM紙16面）

●優良党、党大会でアクシェネル優良党党首を党首候補者として擁立すると発表

7月26日、アクシェネル優良党党首が、6月の大統領選挙での敗北を理由に、8月12日に実施される臨時党大会では党首に立候補しない意向を明らかにしたことを受け、優良党執行部は、同党首の立候補を求める発表を行った。30日、アクシェネル優良党党首は、臨時党大会の開催を発表したが、臨時党大会での党首への立候補については口を閉ざした。（7月27日付けC紙5面）

●国家安全保障会議(MGK)が開催

7月30日、エルドアン大統領の主宰で、実権型大統領制移行後、初めての国家安全保障会議(MGK)が開催された。同会議では、主に、トルコで拘束中の米国籍牧師を巡り25日に米国が発表した対トルコ制裁について取り上げられた。会議後に発表された発表においては、米国のトルコに対する「脅し」の言葉は、NATOの同盟国に対し無礼であり、決して受け入れられないと述べられた。（7月31日付けC紙6面及びM紙14面）

●エルドアン大統領、パフチェリMHP党首と会談を実施

7月31日、エルドアン大統領は、パフチェリMHP党首と会談した。同会談では、主に、テロとの闘い、トルコ・米国関係の緊張やイドリブの最新状況について協議された。パフチェリMHP党

首は、トルコ政府のシリアでのオペレーションや米国の対トルコ制裁問題に対し、「我々は政府を完全に支援する。」と述べた。（8月1日付けM紙16面）



（写真は、7月31日付けM紙インターネット版から）

●ユルドゥルム国会議長、HDP代表団と拘束中の議員について協議

7月31日、テメルリHDP共同党首率いるHDP代表団は、ユルドゥルム国会議長へ表敬訪問を行った。同訪問では、（2016年5月に国会議員の不逮捕特権に関する憲法の規定が廃止されて以降）武装テロ組織に関与したなどの疑いで拘束中の国会議員の問題について協議された。HDP代表団は、ユルドゥルム国会議長に対し、拘束中の国会議員の問題に関する意見書の提出を提案した。ユルドゥルム議長は、同提案を喜んで受け入れるとし、現在、拘束中の国会議員についての問題を調査しているところであると述べた。（8月1日付けC紙5面）



（写真は、8月1日付けM紙インターネット版から）

●エルドアン大統領、死刑制度復活を示唆

8月1日、エルドアン大統領は、ハッキヤリ県で発生したPKK

の爆発テロにより死亡した母親と乳児の葬儀において、「死刑制度に関する法案が国会を通過したら、私はそれをすぐさま承認する。」と述べ、2002年に廃止された死刑制度の復活を示唆した。(8月2日付けC紙9面)

【外交】

●トルコ、米国による対トルコ制裁に反発を示す

(1)7月25日、トランプ米大統領は、トルコがFETOに関与した容疑により2016年から国内で拘束中の米国籍牧師を釈放せず自宅軟禁に移したことを受け、「トルコに重い制裁を適用する。」と発表した。これを受け、28日、エルドアン大統領は、「米国が態度を改めなければ、強力なパートナーを失うことになる。」と批判した。オクタイ副大統領も、「我々は安っぽい脅しには我慢ならない。」と反発を示した。

(2)8月1日、サンダース・ホワイトハウス報道官は、声明で、「牧師の逮捕と拘束において重要な役割を担うソイル内相とギュル法相に対して制裁を適用する。」と述べ、両大臣に対し、米国内における財産の差押えや米国等への出入国禁止などの制裁を適用した。同声明を受け、同日、ギュル法相は、ツイッターで、「1クルシュたりとも私の金は米国やその他の国に存在しない。」と反発を示した。ソイル内相は、「米国にはFETOという我々の『財産』がある。それを返還させてもらう。」と批判した。2日には、AKP、CHP、MHP及び優良党が、共同声明を発表し、「この種の制裁適用と脅しの声明はトルコ・米国間の問題解決に資さない。」と非難した。(7月27日付けM紙15面他)

●エルドアン大統領、BRICS 首脳会合に出席

7月27日、エルドアン大統領は、25日から27日まで南アフリカ共和国ヨハネスブルクで開催されたBRICS首脳会合での演説において、出席した各国首脳に対し、現在、世界は非常に困難な時期にあると述べ、「現存のグローバル・システムは、利益が保証された幸せな少数の人々を除き、誰のことも満足させていない。この構造は、今後変わることなく続いていくことは不可能である。」と警鐘を鳴らした。(7月28日付けM紙16面)

●エルドアン大統領、プーチン露大統領と会談

7月26日、エルドアン大統領は、BRICS首脳会合のマージンで、プーチン露大統領と会談した。両首脳は、二国間関係が経済や観光を始めとするあらゆる分野で発展し続けていると述べた。エルドアン大統領は、昨年の二国間の貿易量は220億米ドルを超えたと指摘し、今後は1,000億米ドルまで増加させることを目標としていると述べた。(7月27日付けM紙14面)



(写真は、7月26日付けM紙インターネット版から)

経済

【マクロ経済】

●7月の経済信頼感指数、上昇

7月30日、トルコ統計庁(TUIK)は、7月の経済信頼感指数が前月の90.4から92.2へ2%上昇したと発表。消費、小売り、建

設、サービス部門が上昇した一方で、工業部門は前月から1%低下し101.5となった。なお、同指数は100以上で楽観的見通しを示す。(7月31日付けHDN紙11面)

●2018年上半期の銀行部門の純利益、63億米ドル

7月30日、銀行規制監督庁(BDDK)は、2018年上半期のトルコの銀行部門の純利益総額が289億トルコリラ(63.4億米ドル)に達したと発表。前年同期の254億トルコリラから13.8%増加した。2018年6月時点での銀行部門の総資産は前年同月比23.5%増の3兆6,700億トルコリラ、預金総額は同20.3%増の1.9兆トルコリラとなった。(7月31日付けHDN紙11面)

●6月の貿易収支赤字、対前年同月比9.1%減の55億米ドル

(1)7月31日、トルコ統計庁(TUIK)は、6月の貿易収支について、輸出が対前年同月比1.3%増の129.5億米ドル、輸入は同3.8%減の184.5億米ドルで、貿易収支赤字は同9.1%減の55億米ドルとなったと発表した。1月から6月までの輸出は対前年同期比6.3%増の822億米ドル、輸入は同13.5%増の1,230億米ドルで、貿易収支赤字は同31.6%増の407億米ドルに達した。

(2)内訳を見ると、6月のトルコの輸出におけるEUの割合は前年同月の47.5%から51.2%に上昇。輸入の1位は中国の18.4億米ドルで、ロシア(17.9億米ドル)、ドイツ(18億米ドル)、米国(11.5億米ドル)が続いた。品目では、輸出の94.3%、輸入の79.9%を工業製品が占めた。輸出された工業製品におけるハイテク製品及び準ハイテク製品が占める割合はそれぞれ3.2%及び37.6%、輸入においてはそれぞれ13.6%及び42.6%だった。(8月1日付けHDN紙11面)

●中央銀行、2018年のインフレ見通しを8.4%から13.4%に修正

7月31日、中央銀行は、トルコリラの下落を受け、2018年のインフレ見通しを4月発表の8.4%から13.4%へ上方修正したと発表。2019年の予想についても6.9%から9.3%に引き上げたが、2020年には6.5%に落ち着くとした。チェティンカヤ中銀総裁は、2018年第2四半期において、景気は減速し、均衡を回復し始めているとし、引き続き長期的に金融引締め政策を継続すると述べた。(8月1日付けHDN紙11面)

●7月の輸出、対前年同月比11.8%増の140億米ドル

8月1日、トルコ輸出業者会議(TIM)は、7月の輸出額が対前年同月比11.8%増の141億米ドルで、7月の輸出額としては過去最高記録となったと発表。ギュルレTIM会長は、2018年は、2014年の1,576億米ドルの年間輸出最高記録を超える年としたいと述べた。7月の輸出の内訳は、1位は自動車関連の27.6億米ドルで、服飾製品(16億米ドル)、化学製品(15億米ドル)が続いた。また、全ての産業の中で最も伸び率が高かったのは防衛航空産業で、対前年同期比77%となった。(8月2日付けHDN紙11面)

●7月も製造業は引き続き縮小傾向

8月1日、イスタンブール工業会議所(ISO)及びIHSマーケットは、7月の製造業購買担当者指数(PMI)について、前月の46.8から49へ上昇したものの、景気の拡大を示す50を下回ったと発表。生産高及び新規受注の低調ぶりが響いたものの、新規輸出受注と雇用は増加。一方で、トルコリラ下落によりインフレ圧力が高まり、投入価格の上昇ペースは2006年6月以降最高値を記録した。(8月2日付けHDN紙10面)

●TUSIAD:「高インフレ率、高金利は経済活動に悪影響」

8月1日、ビレジック・トルコ企業家・実業家協会(TUSIAD)会長は、下落するトルコリラ、インフレ率の高騰や高金利がトルコ企業の競争力を高めることを妨げ、新たな投資への障壁となっていると発言。同会長は、中でもインフレ率の高さが最大の問題であると指摘し、アルバイラク財務相が就任直後に高イン

フレに取り組む姿勢を見せた点を評価した。また、年初からの景気の減速を肯定的に捉え、トルコには、より健全でバランスのとれた経済成長が必要だと述べた。(8月2日付け HDN 紙 10 面)

●1米ドル当たり5トルコリラを突破

8月1日夜、米国政府は、トルコ企業名を掲載した制裁リストは既に準備しており、米国籍のブルンソン牧師の自宅軟禁措置をトルコが継続するならば、牧師が解放されるまで制裁を課すと発表。これを受け、為替市場では1米ドルは5トルコリラを突破し、史上最安値を更新した。(8月2日付け C 紙 11 面)

【金融】

●中国工商银行、トルコのエネルギー・交通分野に36億米ドルの融資

7月26日、アルバイラク財務相は、中国工商银行(ICBC)がトルコのエネルギー及び交通分野向けに36億米ドルの融資パッケージ(民間部門、公共機関及び銀行を対象)を提供したと発表。5月に同相は中国を訪問し、ICBCを含む複数の金融機関と面談していた。(7月27日付け HDN 紙インターネット版)

【経済外交】

●エルドアン大統領、BRICS 加盟に意欲

7月27日、南アフリカ共和国ヨハネスブルクで開催された新興5か国(BRICS:ブラジル、ロシア、インド、中国、南ア)第10回首脳会議において、イスラム協力機構(OIC)代表として招待されたエルドアン大統領は、経済、貿易、及び開発の各分野でBRICSと協力を希望する旨述べ、トルコのBRICS加盟に意欲を見せた。また、「南-南の共働」を強化するための新たな「信用格付け機関」設立も提案した。(7月27日付け HDN 紙インターネット版)

【建設】

●5月の建設コスト、23%上昇

7月30日、トルコ統計庁(TUIK)は、5月の建設コスト指数(CCI)が対前年同月比で23%上昇したと発表。建設資材コストは同26.58%、人件費も15.63%上昇した。なお、対前月比でもそれぞれ4.01%、0.58%上昇している。(7月31日付け HDN 紙 11 面)

【製造業】

●フォード・オトサン、90%国産のけん引トラックを披露

7月25日、フォードとコチ財閥のJVであるフォード・オトサンは、5億米ドルの投資と5年の歳月を費やして開発した新型トラックを披露した。500馬力の同トラックは国内生産比90%を達成。イエニギン同社本部長は、このトラックの三分の一は輸出用であるとし、将来的にはブラジルと中国の工場におけるライセンス生産も視野に入れていくと述べた。(7月27日付け HDN 紙 10 面)



(写真は、7月26日付け HDN 紙インターネット版から)

【エネルギー】

●発電用天然ガス及び電気料金の値上げ

7月31日、トルコ石油パイプライン公社(BOTAS)は、トルコリラ下落により石油及び天然ガスの値上げは「不可避」であるとし、発電用天然ガス価格を49.5%引き上げることを発表。2017年時点で、トルコの発電の約三分の一は天然ガス由来。なお、中央銀行も原油価格予想を68米ドルから73米ドルへ引き上げた。これを受け、エネルギー市場規制庁は、8月1日から一般住居用電気料金を9%、産業及び商業用電気料金を14%値上げすると発表。(8月2日付け HDN 紙 10 面)

【食品・農業】

●ゴマ価格上昇、路上シMIT販売存続の危機

7月にゴマ価格が1キロ当たり12トルコリラと前年比76.4%まで上昇し、平均1個1.25トルコリラで販売されているシMITの生産に打撃を与えている。ヤルチン・アンカラ・ペストリー会議所会頭は、このままゴマ価格の上昇が継続すれば、アンカラでシMIT生産ができなくなると述べた。(7月27日付け HDN 紙 10 面)



(写真は、7月25日付け H 紙インターネット版から)

【航空・運輸】

●TAV エアポート・ホールディング、2018 年上半期の純利益55%増

7月27日、空港事業者 TAV エアポート・ホールディングは、2018 年上半期の空港利用者数が前年同期比31%増の6,700万人、純利益は同55%増の9,300万ユーロを記録したと発表。アンタルヤ空港を利用する外国人観光客数の伸びが記録を押し上げた。なお、本発表の後、イスタンブール証券取引所に上場する同社株価は14%上昇し、31.84トルコリラとなった。(7月27日付け HDN 紙インターネット版)

【観光】

●2018 年上半期の観光客数、前年から30%増加

(1)7月27日、エルソイ文化観光相は、2018 年上半期の観光客数は1,600万人で、対前年同期比で30%増加したと発表。特に、アンタルヤは同期間に660万人以上の来訪を記録しており、同地域の観光客目標数1,400万人は達成される見込みであると述べた。(7月27日付け HDN 紙インターネット版)

(2) 上半期にトルコを訪れた外国人の内訳は、1位はロシアの237.8万人で、ドイツ(156万人)、イラン(114.2万人)、ジョージア(104.9万人)、ブルガリア(98.7万人)が続いた。また、ポーランドは23.5万人と対前年同期比138%増、中国が同93%増の19.1万人、インドが同99%増の6.8万人と大幅に上昇した。(8月1日付け H 紙 8 面)

●2018 年第2四半期の観光収入、前年から30.1%増加

7月31日、トルコ統計庁(TUIK)は、2018 年第2四半期の観光収入は70.4億米ドルに達し、対前年同期比30.1%増となったと発表。そのうち84.7%は外国人観光客、15.3%は国外に在住するトルコ人によるものだった。(8月1日付け HDN 紙 10 面)



(写真は、7月27日付け HDN 紙インターネット版から)

治安

【ISIL 関係】

●イスタンブールで ISIL 関連の SNS グループメンバー43 名を拘束

7月23日、治安機関は、イスタンブール市内15箇所においてオペレーションを実施し、ISIL 関連のソーシャルメディアグループ(SNS)のメンバー43名を拘束した。(7月24日付け HDN インターネット版)



(写真は、7月24日付け HDN インターネット版から)

●6月中、治安機関がイスタンブールで ISIL 容疑者33名を拘束

6月中、治安機関は、トルコ全土で ISIL 容疑者174名を拘束した。イスタンブールでは、外国人28名を含む容疑者33名が拘束された。(7月24日付け HDN3面)

【PKK 関係】

●ハツキヤーリ県において PKK の路肩爆弾によりトルコ軍下士官の家族2名が死亡

7月31日、ハツキヤーリ県において、PKK の路肩爆弾により、トルコ軍下士官の妻及び子供が死亡した。死亡した家族は、下士官の元を訪問した後、車で自宅に向かっていた。(8月1日付け HDN インターネット版)



(写真は、8月1日付け HDN インターネット版から)

【FETO 関係】

●警察がカルロフ駐トルコ・ロシア大使殺害事件で新たに元警察官1名逮捕

7月26日、警察は、2016年にアンカラでカルロフ駐トルコ・ロシア大使が殺害された事件に関連し、新たに元警察官の容疑者1名を逮捕した。同容疑者は、殺害の実行犯と同じ FETO のセルに属し、共に FETO の会合に参加していたと見られている。(7月25日付け HDN3面)

【その他】

●クシャダスで観光客がバスに火炎瓶を投てき

7月29日、休暇でクシャダスを訪れていたトルコ人が、宿泊先のホテルでセルビア人観光客グループと口論となり、ガソリンとビール瓶で作った火炎瓶をセルビア人グループの観光バスに投てきした。負傷者はおらず、同人は警察に拘束された。(7月31日付け HDN2面)



(写真は、7月31日付け HDN インターネット版から)

●イスタンブールで大麻の栽培・密売容疑者4名拘束

7月30日、警察は、イスタンブール市アタシヒル区において薬物対策オペレーションを実施し、薬物密売の容疑者4名を拘束するとともに、容疑者居宅の温室で栽培されていた大麻7キロを押収した。(8月1日付け HDN4面)

軍事

●米上院議会:トルコに対する F35 戦闘機の売却を禁止

8月1日、米上院議会において、米国防総省からトルコの S400 防空システム導入に関するリスク評価の報告書が提出されるまでトルコに対する F35 戦闘機の売却を禁止する法案が可決された。トルコは、1999年から F35 のプロジェクトに参画しており、今後数年間で100機の購入を計画している。(8月2日付け HDN インターネット版)



(写真は、8月2日付け HDN インターネット版から)

社会

●24時間に4万3,000回の雷を観測

23日の午前9時からの24時間にイスタンブール県、エディルネ県、テキルダー県などを含むマルマラ地方で観測された雷の数は4万3,000回を超えた。専門家が「電気の嵐」と呼ぶ雷を伴う激しい雨の影響で、アタテュルク国際空港上空では航空機が長時間にわたり旋回しながら着陸指示を待った。(7月25日付け H紙6面)



(写真は、7月25日付け H紙インターネット版から)

●パンの値段が15%値上り

トルコパン生産者連盟は、物価高騰を考慮し、パンの15%値上げを発表した。パンは現在1kg当たり最高5トルコリラで販

売されており、この値段は2016年以降変動していない。今年1月以降は一本当たりの最低グラム数を250グラムから200グラムに引き下げることで物価高騰に対応していた。値上げ実施までに1か月はかかる見込み。(7月27日付けH紙9面)

●ハイダルパシャ駅修復中にビザンツ都市遺跡が発掘

ボスポラス海峡アジア側にあるハイダルパシャ駅の修復作業中、イスタンブール考古学博物館が監督する考古学発掘作業において、ビザンツ帝国の港町と見られる遺跡が発掘された。遺跡は3万平方メートルを超えると見られている。同駅は2013年に閉鎖されたが、今年末までに運行再開が予定され、開通後はアンカラからの高速列車の到着ターミナルとなる予定である。(7月30日付けHDN紙2面)



(写真は、7月30日付けHDN紙インターネット版から)

●イスタンブールで頻発する擁壁崩壊に建築協会が警告

最近イスタンブールで立て続けに発生した擁壁崩壊を受けて、建築協会及び建築監査委員会は、崩壊の理由を、工事期間短縮やコスト削減を優先した結果、建築基準を満たさない建築計画がなされたこと、また、それに対する監査が不十分であったことによるとし、現状を改善するために新たな規則が必要であるとした。(7月31日付けH紙6面)



(写真は、7月31日付けH紙インターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNG	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TİKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBİTAK	トルコ科学技術研究機構
ITQ	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSİAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSİAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
Cumhuriyet	Cumhuriyet	HT	Haberturk
D	Dünya	IA	Ihlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2018.1.1～2018.8.2 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃盗		詐欺		ぼったくり/バー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2017年		12件		2件		14件		0件
2018年	0件	8件	0件	2件	0件	12件	0件	3件